



朝倉駅周辺のまちづくりについて

平成 29 年 9 月 8 号



朝倉駅周辺を、にぎわいの交流拠点とするための取り組みをお伝えします。

朝倉駅周辺整備計画 第1回市民ワークショップを開催しました。

平成 29 年 9 月 9 日(土)、知多市役所にて、朝倉駅周辺整備基本構想の策定に向けて、市民・利用者等の意見やアイデアを取り入れるための市民ワークショップ、『朝倉駅周辺整備計画 未来を語るワークショップ』をスタートしました。(第1回参加者：37名)

ワークショップの参加者は、公募に応募いただいた知多市在住または在勤・在学の方々と、学生から高齢者まで幅広い世代に集まっていただきました。

また、グループワークの進行役として地域問題研究所の池田哲也さんに、ワークショップ全体のアドバイザーとして日本福祉大学国際福祉開発学部の吉村輝彦教授にも参加いただき、全3回にわたって、朝倉駅周辺をもっと楽しく、みんなが集まるまちにするために参加者のみなさんと一緒に考えていきます。

検討経過の概要とワークショップのねらいを説明

冒頭では、市のまちづくり計画における朝倉駅周辺整備計画の位置付けや、これまで朝倉駅周辺整備計画調査検討会議で検討されてきた計画概要を事務局から説明しました。また、3回のワークショップのねらいとして、①行政だけでなく参加者と一緒に朝倉駅周辺のまちづくりを考えていきたいこと、②いただいたアイデアは基本構想に取り入れていきたいことを参加者のみなさんにお伝えしました。

【テーマとスケジュール】

(全体テーマ)

『知多市の顔である朝倉駅周辺に、
みんなに集まってもらえるような
知多市らしいにぎわいの空間を創造しよう』



第1回 9月9日(土) 『みんなの理想の駅前空間のイメージや使い方』

第2回 9月30日(土) 『みんなの“やりたい”を実現する空間づくり』

第3回 10月14日(土) 『みんなで創る理想の空間の未来図を描く』

みんなが考える『理想の空間』を共有



はじめに緊張をほぐすためにグループのメンバー全員と握手をしてから、グループ内で「他己紹介」を行いました。次に、参加者に用意してもらった思い思いの『お気に入りの広場』の写真会场の壁一面に貼り出して、ポストイットを使ってコメントし合いました。コメントが多く集まった写真から、世代を越えて共感が得られた広場が持つイメージを共有し、朝倉駅周辺に求められる空間や機能を考えるヒントとしました。



アドバイザーの吉村先生からは、『駅前の魅力はそこで何が行われているか、そこがいかにも楽しく使われているかであり、立派なハードを整備して終わりではない』とのコメントがありました。また、『人の交流やつながりを生む仕掛けづくりや、「私もここで何かやりたい!」と思えるような場づくりが重要である』との視点が参加者に伝えられました。

みんなのイイね！
ポイント

- のんびり、ゆっくり、落ち着く
- おしゃれ、カッコいい
- 楽しそう、子どもが喜びそう

『私が朝倉駅前で行ってみたいこと』を自由に意見交換

A～Fの6つグループに分かれて、『わたし、「朝倉」で○○したい!』をテーマに自分が朝倉駅前で行ってみたいことやそのために必要となる機能などについて、自由に意見交換をしました。多様な世代の参加者が、その世代ならではの意見を交換し合うことで、普段なかなか聞くことのない考え方に触れることが出来ました。

最終的に行ったグループ発表では、たくさんの『○○したい』、『○○がほしい』の中にも、各グループ共通の意見がみられるなど、参加者が朝倉駅周辺に求めるまちの姿が少しずつ見えてきました。

各グループの意見交換の成果を次のページにまとめています。



各グループの意見要旨

グループ	【キーワード】と主な意見
A	<p>【空間・いやし、イベント・クリエイティブ、MAP、ひと、インフラ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「好き」を共有できる人で集まりたい（趣味、特技） ・自然あふれる空間でのんびりしたい、食事したい ・世代交流したい⇒みんなと話をして考えを深めたい、他愛ない話もしたい ・知多市の魅力・知多市らしさをPRしたい
B	<p>【色々な施設、学べる場所、大人がゆっくりできる、学生が集まれる楽しい場所、子供が楽しく、健康になれる、たくさんの世代が集まれる、安心、ここにしかない場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習塾やカルチャースクールに通いたい＝自分を高めたい ・子どもと一緒に何かしたい（お菓子作り、手芸など） ・ゆっくりコーヒーを飲みたい（待合わせ、時間つぶし、おしゃべり） ・雨でも暑い日でも子どもが思い切り遊べる場所がほしい
C	<p>【学び、生活、遊び、食べる、美、中間、宣伝、夜食、仕事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花見（桜）や紅葉狩りがしたい ・子どもや家族とゆっくり過ごしたい ・子どもと遊んだあとや仕事帰りのついでに買い物したい（おいしいもの、安全なもの） ・おいしいもの、知多の特産物を食べたい＝来訪者におススメしたい
D	<p>【家族で遊ぶ、見て楽しむ！、集中したり・リラックス、体を動かす、知多の自然生かそうよ、こんな場所・空間がいいな、買い物！、食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を楽しみながら運動したい（ウォーキング、自転車） ・家族で一日を過ごしたい⇒広場、食事、自然 ・友達や家族と一緒に遊びたい、買い物したい（高校生の財布にやさしいもの） ・発表したい（分野を限定しない、アートやミュージックなど）＝新たな交流・つながり
E	<p>【駅を使わなくても寄れる、時間を過ごせる場所、食事、スマホ充電＆Wi-Fi、目印、学生が寄れる、フェス・ライブ、健康、子ども、いやされたい、ショッピング、DIY】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校帰りに友達と勉強したい ・自由に入出りができて、携帯が充電でき、無料のWi-Fiがある場所＝くつろぎ ・市場、マルシェで地元の野菜や調味料を買いたい（地産地消） ・公園や広場でピクニックやフェス、BBQがしたい
F	<p>【買い物・食べたい、おすそ分け・交流、シンボル、インフラ・交通システム、学びたい、ゆっくりできる空間、安全・安心、海外旅行者に立ち寄ってもらえる駅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人と交流し、なんでも気軽に話したい ・都市機能が集まった便利なまちなかで歩いて生活したい ・自然を感じながら家族や友達とゆっくりしたい ・他のマネではなく、後世に残せる知多市らしいまちにしたい

第1回ワークショップを終えて、参加者の声

第1回ワークショップの最後に、参加者のみなさんにアンケートを記入していただきました。『年齢や性別の異なる参加者の多様な意見が聞けて良かった』という意見が多数あったほか、第2回に向けた意気込みや事業に対する質問もありました。そのうちのいくつかを紹介します。

多くの方がのんびりしたいという気持ちでいることが分かった。(40代、女性)

他の駅前開発の実例を紹介してほしい。(50代、男性)

学生だけでなくいろいろな人が利用できるような場所がいい。(10代、女性)

朝倉駅周辺に興味を沸かした。もっといいまちになるよう意見を出したい。(10代、女性)

障害を持っている人の視点もあるともっと発展しそう。(20代、男性)

整備における制約があるのであればその内容も知りたい。(40代、男性)

学生は勉強する場をほしがっていることが分かった。(60代、男性)

次は違うグループにして、違う方と交流したい。(40代、女性)

第2回では、理想の空間を具体化する機能を考えます

第2回ワークショップでは、第1回で出された“こんなことやりたい”を実現するためにはどんな空間が必要なのか、多くの市民に愛される「自分達の場所」にするために市民に何ができるのかを話し合います。

吉村先生からは、第2回の議論を深めるヒントとして、第1回の議論を踏まえて、朝倉以外の駅や駅周辺を見てほしい、また、自分の日常生活を見つめなおしてほしいとのコメントがありました。池田さんからは、家族や友達など、周りの人の声を集めてきてほしいとのお願いがありました。



《次回開催案内》

知多市 朝倉駅周辺整備計画 第2回 未来を語るワークショップ

日時：平成29年**9月30日(土)** 10:00 ~ 12:30 (受付9:30~)

会場：知多市民体育館 2階 大会議室

テーマ：『みんなの“やりたい”を実現する空間』

ご意見・問合せ 参与室(都市計画課)

電話 0562-33-3151

E-MAIL : sanyo@city.chita.lg.jp